

第2回 岡山市環境政策審議会 議事要旨

○前回の意見に対しほとんど取り上げている。すべて検討会を開くのか。

●検討会を開くかは次の段階だが、検討は必要であるとする。

○紙おむつのリサイクルについては今後必要ではないか。

●リサイクルしている市町村がある。汚物等の課題はあるが、新しい情報として収集する必要があるとする。

○海外からの留学生に対して分別の指導方法はどのようにしているか。

●3か国語で標記したガイドブックの作成、ステーションへの外国語看板、それを大学へ貸し出す等の働きかけを行っている。

○草や枝はどのように処理をしているか。

●今は焼却している。受け入れ先や収集運搬経費等の問題があり、資源化については今のところ構成市町のごみ処理基本計画で検討という形にしている。堆肥や生ごみの話もあり、今日明日に結果が出るものではない。岡山市のごみ処理基本計画は平成28年度改定予定であり、そこで検討を行うことを記載する必要があると考えている。検討を行っているのが現状である。

○広域化の基本計画を立てる際に、ブロック協議会はどのように実施しているのか。構成市町の合意はどのように取っているのか。

●ブロック協議会には首長が参加する総会と、その下に実務担当者と県が集まっている作業部会がある。総会で構成市町は広域化を進めることで合意している。

○出前講座については、私の学区では聞いたこと、見たことがない。市民に浸透させて頂きたい。

●このような講座を拡大して、その中で岡山市の現状や課題を共有し、そこから始めないと減量はできないとする。ごみの分別の協力によって資源化が図れるので、継続して行っていきたい。

○出前講座で留学生向けの外国語での講座を計画してはどうか。

●外国語での説明を思ったこともなく、今のところ計画も無いが、今後検討していくべきと思う。

○基本計画の中にある検討を行うべきところは今後検討を行って頂きたい。意見は反映されているようであり、基本計画の素案ということで概ね了承する。